

事業の活動量・実績の数値化 活動指標	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	貸付区画数	区画	計画	-	59	59	59	59	59
				実績	55	54	56	54	40	-
	②	広報誌やホームページによる募集・周知		計画	-	2	2	2	2	2
				実績	1	1	1	1	2	-
	③			計画	-					
				実績						-
	〈記述欄〉※数値化できない場合									

もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	利用者が増えることにより農業を体験される方が増加する	区画	計画	-	59	59	59	59	59
				実績	55	54	56	54	40	-
	②			計画	-					
				実績						-
	③			計画	-					
				実績						-
	〈記述欄〉※数値化できない場合									

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	妥当である ● 概ね妥当である 妥当でない	安心安全を求める昨今のニーズに応えるため、農作物の栽培を体験することにより、自然や農業に対する理解を深めることができる。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	有効である ● 概ね有効である 有効でない	安心安全を求める昨今のニーズに応えるため、農作物の栽培を体験することにより、自然や農業に対する理解を深めることができる。
◆実施方法は現行どおりでよい ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい 見直しが必要	自然志向、農作業体験志向の農業者以外の人達を対象とし、安価な貸付料で実施している

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 耕運機・鍬などの道具・堆肥置場・トイレ・休憩所の設備がある中で、安価な料金で農作物の栽培ができるとして利用者の声は大変好評である。会社を退職し趣味で家庭菜園をしたいとして利用している方が多く、農園での人や食物との触れ合いを楽しみにしている方もいる。しかし、継続していた利用者の高齢化に伴い、今年度の利用が減ってしまった。 今後、利用者の増加を図るためには広報等を利用した周知を増やそうと思う。	
外部評価の実施		有：外部評価	実施年度 平成25年度
改善進捗状況等	H28進捗状況	1. 対応済（廃止含む）	
	H28取組内容	平成25年度の外部評価において利用者ニーズに合うように、貸付要項、契約書の見直しがあつたため平成25年度の貸付要綱の改正を実施した。	
決算審査に伴う常任委員会における意見等		(委員からの意見等) 「特になし」	

事業の活動量・実績の数値化 活動指標	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	①			計画	-						
				実績						-	
	②			計画	-						
				実績						-	
	③			計画	-						
				実績						-	
	〈記述欄〉※数値化できない場合 農業者等農村在住者の健康増進並びに憩いの場を提供し、地域住民の連帯感の醸成及び豊かな人間性を培うとともに、青少年及び児童の健全な育成に寄与するために設置されている。										
	もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
①				計画	-						
				実績						-	
②				計画	-						
				実績						-	
③				計画	-						
				実績						-	
〈記述欄〉※数値化できない場合 農業者等農村在住者の健康増進並びに憩いの場を提供し、地域住民の連帯感の醸成及び豊かな人間性を培うとともに、青少年及び児童の健全な育成に寄与するために設置されている。											

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	農村集落の憩いの場となっており、地域住民で活用されている。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である 概ね有効である 有効でない	地域に根づいた公園であり、なくてはならない公園となっており、農家、非農家を問わず使用状況も順調に推移している。
◆実施方法は現行どおりでよい ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい 見直しが必要	現在は安価な委託料で地域住民で清掃や草刈り等の維持管理が行われている。民間委託を導入すれば現在以上に人件費によるコスト負担が考えられるが、施設の老朽化による修繕料は負担増が見込まれる。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 地域住民の憩いの場としてなくてはならない公園であり、地域の公園として地域住民による清掃作業等の管理が行われており地域に根差した公園となっている。	
外部評価の実施		無	実施年度
改善進捗状況等	H28進捗状況		
	H28取組内容		
決算審査に伴う常任委員会における意見等		「特になし」 (委員からの意見等)	